

2月2日に産業水道委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

● 企業誘致の立地計画について ●

～内容～

企業の誘致活動を行ってきた本市が所有するユニチカ跡地に、シノプフーズ株式会社及び大黒天物産株式会社から用地購入の申入れがあった件について、調査を行った。

～質疑～

問： 企業誘致情報提供報奨金の対象が一社のみとなっているのはなぜか。

答： 大黒天物産株式会社については、グループ会社の方から情報提供があったため、欠格事項に該当し、対象とはならなかった。

問： 下水道の排水処理はどのようになる予定か。本市の下水道基準を業者に十分徹底してもらい、トラブルのないようにお願いしたい。

答： 下水道課と協議をし、容量的には大丈夫とのことである。各社で処理施設を持っていただくことになると思う。再度協議をし、適切な処理をしていきたい。

問： 中原地区の上流では浸水の恐れが度々あるが、これだけの面積を整備し、雨水を排水路へ流したときの上流への影響は、どのように考えるか。

答： 現在の段階では、業者からの詳細な情報が出てきていない。その段階で、どの場所の水路へ排水するのがよいか、十分検討していきたい。

問： 二社の土地売払収入は、どのような会計処理をするのか。

答： シノプフーズ株式会社の財産収入については、補正予算を組んで、基金の方へ積み立てる予定である。大黒天物産株式会社の財産収入については、当初予算に計上する予定である。

～自由討議～

- 地下水の確保、雨水及び下水道の排水処理への対応が問題である。
- 契約成立まではお互い誠意をもって行い、それ以降は購入した方で処理をするという形がよいのではないか。
- 委員会としては、これらの項目について、当局にきちんと対応をしていくよう求めた方がよい。

～当局への再確認～

問：地下水の確保，雨水及び下水道の排水処理への対応については，どのように行う予定か。契約締結時に，業者に対して確約ができるのか。

答：現在の案では，地下水の確保については協定書に入れてある。雨水及び下水道の排水処理への対応については，これから検討をしていく。これらの項目については，再度業者と調整を行い，契約書に入れられるものであれば，そのように行いたい。

～取りまとめ～

地下水の確保，雨水及び下水道の排水処理への対応について，業者側と協議を行い，契約書に入れていただくことを強く要望する。

● 総社市経済戦略会議について ●

～内容～

地域経済の活性化を図るためその対策を講じ，経済に係る情報を共有することを目的とし，「総社市経済戦略会議」を設置することについて，調査を行った。

● 雪舟くん まる得サービス（仮称）について ●

～内容～

市内経済の活性化及び総社市新生活交通「雪舟くん」の利用促進を図ることを目的として，「雪舟くん」を利用した人に対するサービス店舗を募集することについて，調査を行った。

～質疑～

問：市民の皆さんに，このようなまる得サービスをどのようにお知らせしていくのか。

答：広報紙，ホームページ，ケーブルテレビの回覧板チャンネル等で，しっかりと広報活動に努めていきたい。

● 地産地消推進事業について ●

～内容～

農業公社きびの里が天満屋ハピータウンリブ総社店において、週2回野菜の販売を開始することについて、調査を行った。

～質疑～

問：「地・食べ」による市内産の野菜の学校給食への納入目標を35%としているが、現状はどうか。

答：今年度末の目標を35%としているが、本日2月2日現在で20.9%である。今後さらに目標に向けて進めていきたい。

問：現在、14地区100名が加入していると聞いているが、個人での加入は認められているのか。

答：個人での御相談があれば、近隣のグループへ入っていただくようお話をしている。

問：火曜日及び木曜日に天満屋ハピータウンリブ総社店で販売をするとのことだが、手数料はどのようになる予定か。

答：手数料については、天満屋ハピータウンリブ総社店に規定料金を納めることになる。

問：野菜の価格は、どのように決定しているのか。

答：学校給食共同調理場へ納める野菜の価格については、半月ごとに学校給食共同調理場と相談し、市場価格をみながら決定をしている。